
OlphaとAmeca

山羊ノ宮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

OlphaとAmecca

【Nコード】

N4523K

【作者名】

山羊ノ宮

【あらすじ】

ザクツ。

オルファはスコップに足をかけ、土をえぐる。

着飾った綺麗な豪華な服も土に汚れ台無しになっている。

白磁の様な肌も、淡い茶色の髪も、ラピスラズリのような青い瞳も、ただ今は土を掘るためだけにそこに存在する。

ザクツ。

オルファはスコップに足をかけ、土をえぐる。

着飾った綺麗な豪華な服も土に汚れ台無しになっている。

白磁の様な肌も、淡い茶色の髪も、ラピスラズリのような青い瞳も、ただ今は土を掘るためだけにそこに存在する。

「ねえ、オルファ。そんなことして楽しい？」

碑にちよこんと座ったアメリカが足をぶらぶらとさせ、オルファに問う。

ザクツ。

オルファはアメリカの方を見向きもしないで答える。

「別に楽しいからしているんじゃないから」

「そつか。楽しくないんだ。じゃあさ、そんなの放っておいて僕と遊ぼうよ。ね？」

「ううん。ごめんね。私まだいっぱい掘らなくちゃいけないから」

そして、オルファは穴を掘り続ける。

そんなオルファの様子をつまらなそうに見ているアメリカ。

元気良すぎて跳ねてしまっている自身の黒髪を直したり、えんじ膿脂のチエックのジャケットのボタンを手持ち無沙汰にいじっているが落ち着かない様子。

「あのさ、オルファ。そんな穴掘ったって意味なんて無いと思う。

もつと意味のあることした方がいい。僕はそう思うんだけど」

「そうね。意味無いかも。でも、穴を掘るほかに何か意味のあることなんてあるのかしら？」

「えつと・・・それは・・・例えば、僕らの子供を作るとか・・・」
言い淀んだアメリカにオルファは手を止め、微笑む。

「それこそ意味の無い事だわ。必要無いでしょ、この世界に」
オルファの言葉に眉を寄せ、唇を尖らすアメリカ。

そして、オルファに背を向けいじける。

「きつとオルファは僕の事なんて嫌いなんだ。だから、遊んでもくれないし、僕の事なんてどうでもいいんだ」

アメカの体をそっとオルファの腕が包む。

「そんな事無い。皆いなくなってしまうたこの世界で、私と貴方はこの世界に残された最後の二人。どうでもいい訳ないじゃない」

「じゃ、じゃあ僕と遊んでくれる？」

「それはだめ。全部終わったら、ね？」

「・・・うん。じゃあさ。僕も手伝うよ。だったら遊べるようになるの速くなるよね」

「どうかな？もつと遅くなったりして」

「そんな事無いよ。僕、足引っ張ったりしないよ」

「そう。じゃあ、期待しているわ」

「よーし！頑張るぞー！！」

両腕を天に突き上げるアメカ。

その様子を見て微笑むオルファ。

荒れ果てた世界。

地平線まで伸びる林立した墓碑。

そして、穴を掘る二つの人形の姿があった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4523k/>

AlphaとAmeca

2010年10月14日20時21分発行